



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場・就業体験、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、学友の活動についてもご紹介しています。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしく申し上げます。

第34号の目次： 第1回RYLAセミナーのご報告、報告交流会のご案内
青少年奉仕から「1年目地区委員のロータリーモメント」

P. 6	インターアクト	インターアクター卒業式のご報告
P. 8	ローターアクト	ローターアクトPR大作戦！！
P. 11	青少年交換	第54期／第55期合同保護者会のご報告
P. 12	学友	学友の集いのご案内

1. RYLAの活動（ご報告とご案内）（嶋村文男地区RYLA委員長より）

① 第1回RYLAセミナー報告



本年度、松坂順一ガバナーが青少年奉仕をさらに広めるという目的のため、当地区で初めてとなるRYLAセミナーを3月1日（金）から3月3日（日）までの2泊3日で、自然豊かな沖縄県南部、南城市にある沖縄県立玉城青少年の家にて受講生27名で開催しました。受講生は東京から20名、沖縄から7名、男子15名、女子12名、平均年齢は25.5歳となりました。

第1回 RYLA セミナーのテーマは「心にふれ合う」です。

- ① 自分を見つめ直し、自分の心にふれ合う
- ② 他人といつも一緒にいることで他人の心にふれ合う
- ③ さまざまなプログラムを通じてロータリーの心にふれ合う
- ④ ロータリアン自身が受講生の心にふれ合い、自らの教育の場とする

このプログラムは、3名の講師による高度な講義とレクリエーションやバーベキューを通じての交流の場、自らの今までの生き方とこれからの自分を見つめ直す目的で「思索の時間」も取り入れました。

そして、メインともいえるフォーラムでは、下記のテーマが提示されました。

「サル山のボス猿には、リーダーシップがあるか、ないか？」

「権威とリーダーシップは同じか？」

「リーダーシップには何が必要か？」

各々が難解ともいえるテーマにスマホ等を使用せず、自ら考え、相手の意見を聞き、班ごとにディスカッションを進めました。各班とも夜遅くまで話し合いを続け、最終的には班ごとに模造紙2枚に仕上げ2人で発表します。そして、それを全員で再び意見を交わし議論を深めていきます。

人生で初めてと言って良いほどの長い議論を通じて、お互いが理解し、班が動きながらまとまっていくという体験をすることになり、大きな気付きと真の仲間を得ていきます。その自らの気付きが、この RYLA の真の目的ともいえます。

3日目の午後からの閉講式では3日間すべてのプログラムにご参加いただいた、松坂順一ガバナーから一人ずつ RYLA 修了証が手渡されました。晴れて RYLArian (RYLA プログラムの修了者のこと) になった 27 名は大きな満足感のもと参加者全員での笑顔の記念撮影となりました。

今後は、この RYLA で出会った若者たちの輪を大切に、ロータリーファミリーとして交わり応援していきたいと思えます。いつの日か彼らがリーダーとして地域社会を良くする活動に立ち上がる日を待ち続けたいと思っています。

② 地区青少年奉仕委員から RYLA セミナーに参加しての感想



3月3日、沖縄県南城市にある「沖縄県立玉城青少年の家」で開催されている「RYLA セミナー」(最終日)のメインプログラム「フォーラム」を見学してきました。南城市は沖縄県の南部に位置します。この青少年の家までは、バスですと那覇バスターミナルから1時間ほどかかります。玉城(たまぐすく)は、高台の上に築かれた城でした。現在、城跡となっています。玉城城跡からは、百名(ひゃくな)ビーチ、新原(みーばる)ビーチを眺めることができます。青少年の家はこの高台の林の中にあります。青少年の家までの道すがらでは、カエルが鳴き、でんでん虫が這っていました。周辺にコンビニエンスストアなどはありません。RYLA セミナーの受講生は青少年の家に3日間缶詰になりました。

私が到着したのは、「フォーラム」の開始前、最終調整の時間だったため、RYLA セミナーのスタッフであるロータリアンも含めて緊張感に包まれていました。RYLA 受講生は、このフォーラムのために、1日目、2日目、鈴木一作国際ロータリー第2800地区直前ガバナ(寒河江ロータリークラブ)による「若いリーダーに望むこと」などを聴講、その後、大学生・社会人、男性・女性、東京・沖縄、日本人・外国人などバックボーンの異なる20代の若者たちは、3班に分かれてフォーラムテーマについてグループディスカッションを行いました。このグループディスカッションは2日目の消灯時間まで行われました。

「フォーラム」は、安行英文さん(三田ロータリークラブ)をファシリテーターとして進行しました。安行さんは30年ほど前にRYLAを受講されました。「サル山のボス猿には、リーダーシップがあるか、ないか?」などをテーマとして、3班からグループディスカッションの成果が発表されました。A班「サルと人間が求めるリーダーが違う。ロータリーが求めるリーダー像は人間が共存できる世界を目指す人。私たちが考えるリーダー像は周りの人を幸せにできる人」、B班「人間が求めるリーダーシップは、思いやり、相互理解力、プロフェSSIONALであること」、C班「リーダーは責任感、決断力、芯を持つこと。さらに、他者を尊重し、愛を持ち、個性を引き出すこと」などです。各班のメンバー間の連帯を感じました。また、各班、2枚の模造紙を有効に使い、相手にわかりやすく伝える工夫をしていました。発表の後、安行英文さんによるファシリテーションのもと、質問の時間となりました。こちらも、とても盛り上がりました。「そちらの班のリーダーの定義によると、ヒトラーもまたリーダーといえるのではないか?」などの質問にRYLA 受講生が真剣に答えていました。

「フォーラム」の最後に、安行英文さんからまとめが行われました。「リーダーは個人の資質ではなく、リーダーシップ・イズ・アクションです」、「問い続けること、動くこと、動かすことが大切です」、「そして、みんなでアクションを行い、世の中を変えることです」としました。また、「ロータリーはフラットな関係です。ぜひ、今後もつながりを継続していきたいです」としました。

若者にリーダーとしてのマインドを伝えるというロータリーらしいセミナーでした。また、これだけの精度の高いセミナーを開催された地区RYLA 委員会のみなさまの労力に驚嘆しました。

- ③ 「RYLA報告交流会」を開催します（5月18日（土）、15時～、四ツ谷にて）
RYLA 修了生の発表などもございます。ぜひRYLA へのご理解を深めていただき、次年度の受講生推薦をお願いできましたら幸いです。なお、詳細は追って差し上げます。
日時： 5月18日（土）、15時～18時、報告会、18時～20時30分、懇親交流会
場所： 四ツ谷／主婦会館プラザエフ

2. 地区青少年奉仕委員会の活動

① 1年目地区青少年奉仕委員のロータリーモメント

地区委員会を身近に感じていただくために、1年目委員のロータリーモメント（心に残るロータリー体験・きっかけ）をお届けします。

(1) 小内賢一地区インターアクト委員（東京東江戸川ロータリークラブ）

3年前に東京東江戸川ロータリークラブで提唱している愛国学園のインターアクト委員長を務めましたが、本年度、初めて地区のインターアクト委員を務めさせていただいております。入会5年目とまだまだ、ロータリークラブでの経験は浅く、不安なスタートでしたが、諸先輩のみなさま方からさまざまなアドバイスをいただきながら、年度の半分が過ぎました。印象に残っている活動は、インターアクト年次大会です。本年度は、沖縄で浦添ロータリークラブが提唱する昭和薬科大学附属高校で開催され、沖縄出身のアーティストである伊波幸乃さんのミニライブをはじめ、タイでロータリアンとして、アカ族の支援活動している原田義之氏の魂のこもった熱い講演、インターアクターによるディスカッション、参加者約200名と素晴らしい大会でした。次年度は、自クラブの提唱する愛国学園がホスト校となりますので、本年度の大会に負けぬよう計画していきたいと思っております。



(2) 向井史郎地区ローターアクト委員（東京上野ロータリークラブ）

東京上野ロータリークラブに入会して11年目です。縁あってローターアクトクラブの設立に昨年携わらせていただきました。その際、若い方々と何度も接する機会に恵まれ、みなさんの積極性に感動しました。4～6年前から、東京上野ロータリークラブでも若い方々が入会して、活動的になったとはいえ、これほど、積極的に自分たちで考え行動して、みなさんが自分の意見をはっきり相手に伝えることができることの素晴らしさに驚きました。ロータリークラブのメンバーは、お金はあるけど地味な活動はなかなか難しいものですが、彼らであれば自ら地味でも重要なボランティア活動をやることができます。頼もしい限りです。若い人の活動を見守りながら、私自身も勉強したいと思っております。



(3) 加藤勉地区ローターアクト副委員長（東京足立ロータリークラブ）

「うちのクラブでもローターアクトクラブ欲しいよね」、そんな何気ない会話から私のロータリー生活は始まりました。もともとは学生時代から、東京南部の第2750地区でローターアクト活動を10年近く経験し、地区ローターアクト代表まで務めさせていただく機会にも恵まれました。ロータリークラブの例会にお誘いいただくようになったのは、JC卒業後ポツカリ



空いた穴を、「これから何をしようかな」と考えていた時期でした。現在は入会3年目と、まだまだ未熟者ではございますが、地区ローターアクト副委員長として活動させていただいております。ローターアクターとして培った経験やロータリアンのみなさまから注いでいただいた愛情、懐の深さを地区ローターアクト委員としてローターアクト活動のさらなる活性化や深化、会員拡大やロータリーパートナーとしての接し方など相互理解を深め、交流・親睦活動を通じた「真の一体感」が醸成できるよう、最善を尽くしていきたいと新たな試みをたくさんトライしております。

(4) 中島英嗣地区青少年交換委員（東京神田ロータリークラブ）

昨年3月、所属クラブの会長より電話が入り地区青少年交換委員をお願いされ、訳も分からず引き受けしました。5月の地区青少年交換委員会に次年度委員として参加させていただき、その時、青少年交換プログラムの派遣学生の見送り担当、来日学生のお迎え担当を決める真っ最中でした。その熱気たるや物凄いもので只々啞然とするばかりで、「とんでもない所に来てしまった」と感じながらいました。その時の場持ちの悪さたるや今でも思い浮かびます。そうしているうち担当が決まり、なんと私の担当は朝



一番で成田空港へ行き来日学生を迎え、その足で羽田空港に行き午後から来る来日学生を迎える、しかも夜まで3人というスケジュールでした。家に帰る途中、この委員やっつけられるのか不安でした。そんな不安を抱きながら地区青少年交換委員会に出ていますと、そんな不安を抱いている暇もなく来日学生、派遣予定学生の語学合宿（サマーキャンプ）が始まり、当然私も宿泊当番に組み込まれました。熱心に勉強している学生を見ながらふと来日学生の心の中を察してみると、きっとこの子らは親兄弟と離れ知らない国で言葉も通じない所に来て、さぞや不安だろうなと思ったら自分のことしか考えない私が小さく思えてき、なんとかこの子どもたちのお役に立ちたいと思うようになってきました。今は、毎月2回ある茶道の勉強会にも積極的に参加し、なかなか思うようにできない子どもたちの様子を見ながら楽しませていただいております。所属クラブだけにおいて、ほのぼのとしたロータリーライフを楽しんでいましたが、異なったロータリーライフがあると感じています。

3. インターアクトの活動（ご報告とご案内）（鈴木祥太地区インターアクト委員長より）

① インターアクター卒業式のご報告

（1）インターアクト沖縄地区大会

2月8日（金）、沖縄青年会館（那覇市）において、第30回インターアクト沖縄分区大会が開催されました。毎年恒例の行事となっておりますが、各校の活動を共有して懇親を深め、卒業する3年生の表彰状と感謝状の授与を行います。その後は、在校生インターアクターが主催で3年生を送る会が開催されました。各校の在校生のインターアクターが卒業する3年生のために、みなで練習してきた伝統の沖縄舞踊やダンスで門出を盛り上げました。会の中では本年度から始動した地区学友委員会の平井委員長より卒業生に授与した「学友証」についてと卒業してもロータリーとの関係が途切れないように設置された学友委員会の意義について説明をいただきました。



本年度、沖縄顧問教師会会長で昭和薬科大学附属高等学校インターアクトクラブの顧問の長位先生が定年のためご卒業されます。後任には同校インターアクトクラブの花城先生が就任します。永年、インターアクトクラブのためにご尽力いただいた長位先生に心より尊敬と感謝をお伝えします。ありがとうございました。

（2）在京ロータリーファミリー交流会・卒業表彰式

2月23日（土）、愛国学園（東京都江戸川区）において愛国学園インターアクトクラブのホストのもと、インターアクトの合同活動が開催されました。午前中はロータリーファミリー交流会、午後は卒業表彰式と2部構成で開催しました。ロータリーファミリー交流会では、地区青少年交換委員会のご協力のもと、来日学生、派遣予定学生、ROTEXのみなさんにご参加いただきました。来日学生の日本語でのスピーチ、派遣予定学生の英語でのスピーチを聴き、インターアクターは良い刺激を受けました。その後は、グループに分かれ、来日学生を交えて各国文化の違いを話し合いながら交流しました。海外派遣のない当地区のインターアクターにとって国際理解の観点から非常に有意義な時間になりました。ご協力いただいた青少年交換関係のみなさまに御礼申し上げます。午後からは恒例の卒業生への表彰状、感謝状、記念品の贈呈を行いました。インターアクターは毎年3月に3年生が卒業して、4月に新入生が入会します。インターアクターは活動と懇親を通して短期間で見た目も心も大きく成長します。インターアクトは中高生の成長の早さを実感できるとて



も楽しい青少年奉仕の常設プログラムです。まだ活動に参加したことのないロータリアンのみなさまはぜひ一度、インターアクトの行事にご参加いただければと存じます。

今回、新たに安田学園インターアクトクラブの始動が発表されました。在京 5 クラブ、沖縄 5 クラブで合計 10 クラブが 4 月の新入生の入会を心待ちにしながら各地域で奉仕活動や国際理解について活動します。

② 今後の予定

- ・ 第 56 回インターアクト年次大会

日時： 2019 年 7 月 28 日(日)～29 日(月)

開催場所： 千葉県立水郷小見川少年自然の家

ホスト校： 愛国学園インターアクトクラブ

提唱クラブ： 東江戸川ロータリークラブ

※次年度の年次大会日程が決まりました。みなさまのご参加をお待ちしております。

詳細は日程が近づきましたら、改めてご案内します。

4 月 7 日 (日曜日)、在京/地区青少年奉仕包括成果発表会へのお誘い

4 月 7 日 (日曜日)、13 時から、新宿にて、地区青少年奉仕包括成果発表会/第 7 回を開催します。インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLArian が成果発表を行うとともに、各クラブの会長、青少年奉仕担当委員長にお越しいただき、インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLArian との交流、コミュニケーションの機会とします。本年度も、米山奨学生の参加とともに、職場体験・就業体験からの発表もごぞいます。クラブ宛てにご案内を差し上げましたので、ぜひご参加よろしくお願ひします。

【東京板橋セントラルロータリークラブより】

本年も、都立赤羽商業高校の就業体験 (インターン) を受け入れました

2 月 6 日・7 日、東京板橋セントラルロータリークラブは青少年奉仕の一環として、都立赤羽商業高校の就業体験 (インターン) を受け入れました。10 年以上、継続しています。本年度は、シール印刷会社、寺院の 2 事業所にて、高校生 2 年生、15 名でした。シール印刷会社では軽作業 (シールの袋詰め) の体験を行いました。経営者からレクチャーを受けました。寺院では、礼儀作法、茶道、座禅などを行いました。また、ご住職からの講話もありました。それぞれ真剣にお仕事に向き合いました。青少年奉仕とは「次の世代と会って、お話しして、アドバイス」することです!

なお、都立赤羽商業高校は 2021 年 3 月に廃校となるため、都立赤羽商業高校からの就業体験の受入れはこれが最後になります。残念です。



4. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

① 地区広報委員会からのご報告「ローターアクト PR 大作戦!!」



2月2日（土）、地区広報委員会主催で「ローターアクト PR 大作戦!!」を開催しました。本年度、地区広報委員会の目標でもある「発信力を高める」ことをテーマに実施しました。プログラム前半では「人にモノをどのように伝えるか」＝「伝え方」についてミニ講義を通して参加者全員で学びました。後半では、学んだ「伝え方」をもとに各グループに分かれて「ローターアクトを知らない人へローターアクトの魅力はどう伝えるか」という課題に取り組んでもらいました。最後に、1日の集大成として、全グループに発表をしてもらいました。どのグループもオリジナリティ溢れる方法で「ローターアクトの魅力」を伝えてくれました。今回のプログラムを通じて「伝え方」に対する意識が変わり、ローターアクトの魅力を十分に伝えることができるようになりました。

② 地区広報委員会からのお願い

みなさまのクラブでローターアクトの卓話をさせて下さい。

ご興味のあるクラブがありましたら、ローターアクトにお声掛けください！

ロータリークラブ会員のみなさまにおかれましては、ローターアクトクラブの活動に日頃よりご理解を賜り、心より感謝申し上げます。我々の活動をよりご理解いただくために、ロータリークラブ例会での卓話を通して広報活動をさせていただいております。本年度は13クラブ（2019年3月11日現在）に卓話の機会をいただきました。この場をお借りし感謝申し上げます。

たいへん僭越ではございますが、貴クラブにおいて、卓話者未定の例会がございましたら、ぜひ青少年奉仕の一環としてローターアクトに卓話の機会をお与えいただければ幸いです。

プログラムの内容としては、①ローターアクトの概要、②ローターアクトの活動報告、③今後ローターアクトの提唱を考えているクラブの3つをご準備しております。例会運営担当・プログラム委員長の方、ご連絡をお待ちしております。

卓話依頼連絡先：

国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト 地区広報委員長

Email：

③ 第 50 回地区年次大会のご案内

国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト 2018-2019 年度

第 50 回地区年次大会「今を生きる」

この度、2019 年 5 月 25 日(土)、浅草ビューホテルにて「国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト第 50 回地区年次大会」を開催します。節目となる第 50 回の地区年次大会の大会テーマを「今を生きる」としました。本年度、当地区では一人一人のローターアクターが熱く輝き、最大限に個性が発揮できるよう、地区ターゲットを「Piece」としています。一人一人の Piece が「今を生きる」積み重ねが「過去」を作り、「現在」の私たちがいます。そして、「今を生きる」私たちが「現在」を過ごし、これからの「未来」を作っていきます。今をどう生きるかでより良い「未来」を創造することができます。現在、SNS があれば多くの人と簡単につながることができます。しかし、どれだけの人が実際に相手の顔や目を見て話をしているのでしょうか。ローターアクトでは、人と人が顔を合わせて例会を企画し、実行します。その中では、会員同士の意見が衝突することもあるでしょう。失敗することもあるでしょう。そして、楽しいこともあるでしょう。泥臭いかもしれませんが、このような交流や失敗の中から人は学び、成長するのだと思います。

本大会は、「奉仕を通じての親睦」の標語の下、活動してきたローターアクターが一堂に会する貴重な機会です。熱く輝く「今を生きる」、「Piece」が、お互いに刺激し合える交流の場となるよう、現在、鋭意準備を進めております。クラブ、そして地区を越えた出会いと学びが溢れる、最高の思い出をみなさまと一緒に作れたらと思います。

そして、このような活動の場が我々にあるのは、ロータリアンの方々の日々の温かいご支援のお陰です。ご多忙かと存じますが、熱く輝く「今を生きる」私たちの姿をお見せできたらと思いますので、ぜひご参加いただけますと幸甚に存じます。

日程： 2019 年 5 月 25 日(土)

スケジュール： 11:00～11:45 受付、11:45～16:35 式典、17:00～19:00 懇親会

会場： 浅草ビューホテル

詳細やお申込みについては、追ってご連絡を差し上げます。

④ 東京池袋ローターアクトクラブ

◆おすすめ例会情報：3 月第二例会「子どもの才能発見卓話例会」

開催日：3 月 30 日(土)

集合場所：千早地域文化創造館（東京都豊島区千早 2-35-12）

受付開始：9:45

登録料：RC:1,000 円 RAC(OB・OG)、ビジター:500 円

登録先：東京池袋 RAC 幹事

⑤ 東京東江戸川ローターアクトクラブ

- ◆おすすめ例会情報：4月第一例会「海老澤智美会員による卓話「管理栄養士について」」
- 開催日：4月6日(土)
- 集合場所：岩倉病院 IK ビル 2F(東京都江戸川区南小岩 7-27-22)
- 受付開始：17:45 開会点鐘：18:00
- 登録料：RC:2,000円 RAC(OB・OG)、ビジター:無料
- 登録先：東京東江戸川 RAC 幹事

⑥ 東京ワセダローターアクトクラブ

- ◆おすすめ例会情報：4月第二例会「写真例会」
- 開催日：4月13日(土)
- 集合場所：甘泉園公園(東京都新宿区西早稲田 3-5)
- 受付開始：12:30 開会点鐘：13:00(17:10終了予定)
- ※雨天の場合：14:45-17:10(東京ワセダ RC 事務局)
- 登録先：東京ワセダ RAC 幹事

⑦ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

- ◆おすすめ例会情報：3月第二例会「お花見例会！」
- 開催日：3月31日(日)
- 集合場所：バーガーキング浅草吾妻橋店(東京都台東区雷門 2-20-6)
- 受付開始：10:00 開会点鐘：10:30(12:30終了予定)
- 登録料：RC：3,000円 RAC(OB・OG)：1500円 ビジター1,000円
- ※雨天の場合：中止
- 登録先：東京浅草中央 RAC

ローターアクトクラブ例会へのお誘い

各ローターアクトクラブから「おすすめ例会」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。

5. 青少年交換の活動（ご報告）

① 第54期／第55期合同保護者会報告

3月3日（日）、午後5時より学士会館にて、第54期派遣学生第55期派遣予定学生の合同保護者会が開催されました。この会の目的は、約5ヵ月後に迫った第55期派遣予定学生の保護者の準備や不安をケアするためいろいろな細かいところまで疑問を解消していただくべく、現在派遣をしている第54期派遣学生の保護者より質問に回答していただいたり、相談に乗っていただく場であります。

式次第は以下の通りです。

1. 地区青少年交換委員会 内田委員長 挨拶
2. 地区青少年交換委員会 吉田直前委員長 挨拶
3. 第54期保護者会 水口会長 挨拶
4. 第55期保護者会 菅会長 挨拶
5. 渉外担当委員紹介 大澤委員 ベルギー、フランス、スペイン
安藤委員 CS、Essex(アメリカ、カナダ)、ドイツ、イタリア
吉田委員 フィンランド、タイ、ブラジル
6. 第54期保護者 自己紹介と派遣学生の近況
7. 第55期保護者 自己紹介と派遣予定学生の近況
8. 委員より第54期／第55期へのお知らせとお願い 大澤委員
 - ・ホストファミリー受入れのお願い
 - ・報告書の提出
 - ・派遣についてのリスク
9. 質疑応答

質疑応答でわかったことは以下の通りです。

- ・派遣学生の自立を促すため極力電話をしないよう要請しているため、保護者が学生の近況を知る手段としてインスタグラム、フェイスブックなどのSNSそして子供たちの月間報告書があります。報告書は詳細に記述してほしいという意見多数。
 - ・タイは親日国で友だちをつくるのに苦労しない。
 - ・持っていくスーツケースは大きいものを二つ。
 - ・茶道具、浴衣持参。おみやげ（菓子類）、ファーストホストへのおみやげは重要。
 - ・今年のアメリカの寒波は半端ではない。
 - ・保険加入は相手国の薦めるものを。
 - ・ブレザーにつけている缶バッジは500個くらい作って持っていく。缶バッジ交換は名刺交換と同義。
 - ・ギャランティフォームの記述は相手国の指示に従う。
- などなど。

② 今後の予定「ジャパントゥアー」(3月27日から4月4日)

日本の文化、自然、歴史を学ぶことを目的に、派遣予定学生と来日学生がジャパントゥアーに参加します。広島では、平和記念資料館(原爆資料館)を見学とともに平和ディスカッションを行います。

行程は以下の通りです。

- 3月27日 東京→京都
- 3月28日 京都→神戸
- 3月29日 神戸→広島
- 3月30日 広島連泊
- 3月31日 広島→大分
- 4月1日 大分→大阪
- 4月2日 大阪→奈良→大阪
- 4月3日 大阪→伊勢
- 4月4日 伊勢→名古屋→東京

6. 学友の活動(ご案内)

① 学友の集い(5月19日)のご案内

学友委員会(本年度新設)とは、ロータリーの青少年奉仕プログラムで育成してきた青少年のOB/OGを組織化し、ロータリーとのつながりを維持し、ひいてはロータリークラブへの入会を期待できる学友会を援助するための委員会です。これまで「学友会」というと、ロータリー財団親善奨学生などの財団資金によるプログラム参加者による財団学友会、米山奨学生のOB/OG組織の米山学友会については、長い歴史を誇り、見事な活動を続けています。しかし、青少年交換、インターアクト、ローターアクトについては、各ロータリークラブで個別にOB/OG会が存在することはあっても、地区として支援する全体の組織はありませんでした。当委員会が目指すのは、これらを一括した学友会として、学友自らが自発的に運営できる、強力な組織となるようにサポートしていくことです。

このたび、下記のとおり、学友が一堂に会するイベントを実施することとしました。ぜひご参加をいただければと存じます。

日時： 5月19日(日)、13時～17時

会場： タワーホール船堀

※ 詳細は追ってご連絡差し上げます。

「青少年奉仕情報」第34号発行にあたって

当地区として初めての試みである RYLA セミナーが沖縄県で開催されました。詳細は嶋村文男地区 RYLA 委員長の報告記事のとおりです。27名の RYLArian が誕生しました。RYLArian 同士のつながりは、受講生がセミナーを修了した時点で終わるのではなく、これから先、長く続いていきます。RYLArian のなかから将来ロータリークラブに入ってくる人も出てくるでしょう。RYLArian とインターアクト、ローターアクト、ROTEX 等との交流の機会も生まれてくるはずですが、交流のなかから今までにない新しい奉仕の機会が生まれてくるかもしれません。今回の出会いを途切れさせないように、これまた松坂年度に新設された地区学友委員会が重要な役割を果たしていくことが期待されます。RYLA のスタートは、当地区の青少年奉仕の未来の可能性を無限に押し広げる力を持っていると言えると思います。RYLA セミナーは持続的な活性化を、地区に、クラブに、ロータリアン一人ひとりにもたらし続けるであろう期待感を実感できる場でもありました。5月18日には「RYLA 報告交流会」が開かれます。お時間あれば足を運んでいただきたいと存じます。RYLA 以外にも、インターアクト、ローターアクト、青少年交換もそれぞれ活発な活動を展開しております。今回一段と内容の厚みを増した「青少年奉仕情報第34号」をお届けいたします。青少年奉仕の「今」を感じていただければ幸いです。

地区青少年奉仕委員長 松岡浩（東京本郷ロータリークラブ）

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告（写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です）、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ／掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会（担当；茂木）まで mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp